

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、二ツ河小学校1年生の2人です。

にっこりえがお



田代 一華 さん

「にっこりのじかん、かがやきをつかって」かお「のがくしゅうをしました。いろいろなかおをみて、そのときのきもちをみんなでかんがえました。おこったかおやこまったかお、わらっているかおをみて、そのときのきもちをみんなだててかきました。わらっているかおは、め

をにっこりさせて、たのしそうなかおにしました。

そのとき、たのしかったことをおもいだしました。わたしは、ひるやすみ、きょうしつでほんをよんだり、せんせいとはなしたりすることがあります。あるとき、ともだちが

「にっこりあそぼう。」とそそってくれました。そのときは、シーソーやおこしをこつて、うっぱうっぱにあそべました。うれしかったです。わたしは、あまりじぶんからあそびにそそうことはなかつたけど、なぞわかれるとうれいといわかりました。そのあとで、わたしも

だちに、「あそぼうね。」

といったら、ともだちがにっこりしたのでうれしかったです。これからも、にっこりえがおをふやしていきたいです。

やさしいみんな



浦田 美玖 さん

わたしはひるやすみに、おでこをけがしたとき、と

てもいたくて、ずっとないていました。みんながしんぱいして、ほけんしつにつれていってくれました。「だいじょうぶ。」

「ともだちがこえをかけたので、すこしこころがおちつきました。そのあと、びょういんに

いって、いちにちやすむことになりました。がっこうにいきたいなあとおもいました。つぎのひ、がっこうにいったら、みんなが、「だいじょうぶだった。」「わかったね。」とこえをかけてくれました。みんなやさしくしてくれました。みんなとおにこころ

をしてあそべてすこすこうれしかったです。

ほけんしつにつれていたり、やすんだひとにやさしくこえをかけたりに、みんながしてくれたように、わたしもみんなにやさしくしたいとおもいます。そして、これからもみんなとなかよくあそびたいです。

【先生からの一言】

2人とも、友達の優しさに触れてうれしかったことを書いたすばらしい文章です。これからも友達とのつながりを大切にしながら、笑顔いっぱい学校生活を送ってください。

CONTENTS	ページ
秋の叙勲 市内から3人が受章	2
社会教育功労者、吉山教諭大臣表彰	3
年末年始の休み、水道管凍結注意 ほか	4-5
お知らせ掲示板	6-7
人権・同和教育シリーズ	8

12 / 15

2021.No.399

広報やながわ 令和3年12月15日号 No.399

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail kouin@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。



支えてくれた柳川に感謝

12月2日、元大関琴奨菊関の優勝額（平成28年1月場所）が市民文化会館1階中央ロビーに設置されました。これは、支えてくれた地元の皆さんに感謝の気持ちを伝えようと、秀ノ山親方（元大関琴奨菊関）が市へ寄贈したものです。優勝額は重さ約80kgで、高さ3.17m、幅2.28m。同館で常設展示しているので、ぜひご覧ください。